

講座 テーマ	尊厳死・安楽死からいのちの尊さを考える	担当者	川本 起久子 (九州看護福祉大学・准教授)
講座の到達目標及びテーマ： 「尊厳死」という用語は自然死から医師による自殺補助を含んだ広い意味でも使用され用語の混乱をきたしたり、安楽死に関してマスコミでも取り上げられ説明不足から誤った理解につながる可能性がある。今回の講座では、法的側面から尊厳死・安楽死を理解し、日本における終末期医療の現状も踏まえて、いのちの尊さを考えることを目標とする。また、医療に関心を持つことで、自分自身の治療選択等の自己決定についても考える機会とする。			
講座の概要： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 尊厳死・安楽死の定義を理解する。</li> <li>2. 自己決定権を理解する。</li> <li>3. 尊厳死・安楽死の是非を考える。</li> <li>4. 終末期ケアの実際を知る。</li> <li>5. 尊厳死・安楽死を通して、いのちの尊さを考える。</li> </ol>			
形態	講義		
テキスト	当日、資料を配布する。	試験方法	筆記試験
評価： 修了認定のための筆記試験（100点満点）を講習時間内に40分程度で実施する。			
講座受講希望者への事前連絡： 特になし。			

講座 テーマ	がん放射線治療と放射線の身体の影響 から命をみつめる	担当者	島村 美香	
<b>講座の到達目標及びテーマ：</b> 本講座では、基本的な放射線の種類と特徴や被ばくの形式、生活の中での放射線の利用について知り、私たちの日々の暮らしの中に放射線が存在することを理解する。そのうえで、がん放射線治療の実際を紹介、放射線のがん治療への貢献と放射線の身体への影響の二つの側面について知ることを通して、命に対する放射線の光と影について考える機会とする。				
<b>講座の概要：</b> 1. 日常の中の放射線を知る 2. 放射線の身体への影響を知る 3. 放射線のがん治療へ利用を知る 4. 放射線の影響とがん治療を通して、命をみつめる 5. 筆記試験				
形態	講義			
テキスト	当日に資料を配布する。	試験方法	筆記試験	
<b>評価：</b> 修了認定のための筆記試験（100点満点）を講習時間内に40分程度で実施する。				
<b>講座受講希望者への事前連絡：</b> 特になし。				